

高齢者の安全

5つのテーマ

自殺の予防

交通安全

高齢者の安全

子どもの安全

災害被害の防止

取組①

交通事故防止の意識啓発

高齢者の交通事故を防止するため、反射材の作成や配布を行いました。

市内の交通事故者は高齢者が多く、中でも薄暮時や夜間の歩行中に事故に遭うケースが増加しています。しかし、ゆうゆう甲賀クラブが実施したアンケートによると、着けるのが面倒などの理由から反射材を持っていてもつけない人が多いことがわかりました。

今後反射材の啓発をより進め、着用率の向上をめざしていきます。

まちぐるみで 高齢者の安全を築こう

甲賀市では、65歳以上の方の占める高齢化率が年々増加しており、現在は約25%で4人に1人という状況です。

セーフコミュニティでは、高齢者の安全をテーマに「高齢者の安全対策委員会」を設置し、対策に取り組んでいます。

そこで、反射材の啓発と併せて、簡単に靴に貼れるシールタイプの反射材を作成して配布したり、高齢者施設の利用者



▲思い思いの反射材を作る利用者

取組② 自治会など地域での注意広報

高齢者の交通事故を減らすには、高齢者だけでなく運転者や住民の方々にも地域の危険な場所を知っていただく必要があります。そのため、危険箇所を知らせる目印として「おもいやりタヌキ」を設置しました。

18店舗に設置しました。設置した店舗の協力もあって多くの方にアピールすることができ、地域の交通安全意識の向上につながりました。今後は他の地区にも取り組みを広げていきたいと考えています。



▲「おもいやりタヌキ」を設置する対策委員

セーフコミュニティ こうか みんなでつくる安心安全なまち



チェックリストを受け取った 北村恵津子さん



家の中で転びそうになったことがあるので日頃から対策はしていますが、チェックリストで危ないところを再確認できました。目に付くところに貼って常に気を付けようと思います。

高齢者だけでなくいろんな人に見てもらい、どのような危険があるのか知ってもらいたいです。

取組③ 転倒予防の意識啓発 (高齢者向け)

転倒予防の意識啓発として、転倒予防のチェックリストを作成し、地域包括支援センターなど各種団体が持っている高齢者宅の訪問と併せて配布しています。



▲転倒予防のチェックリスト

転倒予防の意識啓発として、転倒予防のチェックリストを作成し、地域包括支援センターなど各種団体が持っている高齢者宅の訪問と併せて配布しています。

転倒予防の意識啓発として、高齢者疑似体験を行っています。これは、若い世代が疑似体験を通じて高齢者の身体特性を理解し、支援してあげることで転倒予防につながるようとする取り組みです。



▲装具を着けて疑似体験をする生徒

取組④

転倒予防の意識啓発 (若年層向け)

この体験の修了者には、修了の証としてリストバンドを渡しています。リストバンドをつけ、高齢者を支える若者が増えることで、高齢者が外出しやすくなるように努めています。

高齢者疑似体験を修了した 城山中学校 2年生 井上美波さん



お年寄りには私たちの何倍も大変な思いをされているのがわかり、思いやりを持って地域の人々を支えていかないと感じました。

今後、お年寄りが困っていたら疑似体験を思い出して、高齢者の気持ちになって手助けをしていきたいと思っています。

問い合わせ
危機管理課 セーフコミュニティ推進室
☎62118005 / ☎63-446619